

2026

出張講義のご案内

経営学部

経営学科

福祉健康学部

福祉学科

福祉健康学部

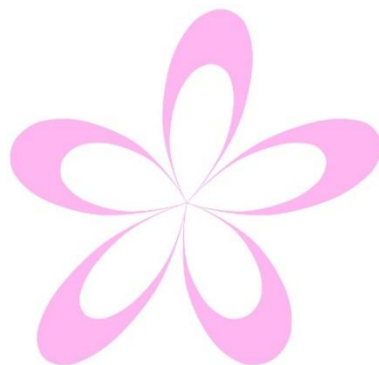
こども学科

福祉健康学部

健康スポーツ科学科

看護学部

看護学科



福山平成大学
FUKUYAMA HEISEI UNIVERSITY

◇出張講義の目的◇

福山平成大学では、高等学校からのご要望に応じて、本学教員が専門分野に関する講義を行っています。

高校生の皆さんに、大学での学びや研究にふれていただき、将来の進路を考えるきっかけとしていただくとともに、高等学校との教育連携の充実を目的として実施しております。

本冊子「福山平成大学出張講義のご案内」を、進路学習や探求活動等に、ぜひご活用ください。

■出張講義の申し込みについて

- ・お申し込みは、実施希望日の1か月前までを目安に、入試室へご連絡ください。
- ・実施希望日が近い場合でも、可能な範囲で調整いたしますので、まずはお気軽にご相談ください。
- ・本学の行事や入学者選抜試験等の都合により、ご希望の日時に教員を派遣できない場合がございます。あらかじめご了承ください。

■申込手順

・希望学科・テーマ（担当教員）の決定

本誌をご参照のうえ、ご希望の学部・学科およびテーマ（担当教員）をお選びください。

ご希望には可能な限り対応いたしますが、担当教員の教育・研究活動等の都合により、ご希望の日程に派遣できない場合がございます。あらかじめご了承ください。

なお、テーマ（担当教員）の指定が難しい場合は、ご希望の学部・学科をもとに、本学にて教員を選定することも可能です。

より充実した講義実施のため、できる限りテーマ（担当教員）をご検討のうえ、入試室までご連絡くださいますようお願いいたします。

◇お問い合わせ先◇

福山平成大学 入試室

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸 117-1

TEL 084-972-5001(代) / E-mail nyushi@heisei-u.ac.jp

経営学部 経営学科

職名	教員名	テーマ	講義内容
教授	小川 長	地域を活性化する！	「地域活性化」という言葉をよく耳にする。でも考えてみると、地域活性化とは一体何なのだろう？何がどうなれば、地域が活性化したと言えるのだろうか？こうした根本的なところから、地域活性化を考えます。
教授	芝田 全弘	会社の通知簿を読み	毎年、会社は財務諸表という書類を作成することになっています。財務諸表は会社の現状を数字で見える化したものなので、会社の通知簿とも言われています。学校の通知簿は5段階評価などで表示されているため、一目で良し悪しが分かるようになっていますが、会社の通知簿はそうではありません。有名な会社の通知簿を吟味します。
教授	平田 宏二	平成の市町村大合併を経て	明治以降の地方は、ムラに始まり合併の歴史を繰り返してきた。近年ではいわゆる平成の大合併で全国にあった3,300の市町村は今では約1,700市町村と激減している。福山市周辺においても、神辺町、新市町など4団体が福山市と合併し新たな都市圏づくりを目指してきた。合併は財政の解消策とも揶揄されている。財政的な視点を通して合併に至った経緯、また合併後20年余を経て今日にどのように変化したのか学習します。

経営学部 経営学科

教授	渡辺 清美	ビジネス英語実践学習	ビジネスシーンでよく使われる英語表現をネイティブの発音を聞きながら、学習します。アメリカ、スイス、ガーナのネイティブの発音を聞くことができます。
教授	市瀬 信子	漢詩で読む受験の悲哀	中国では、科挙という官吏登用試験が実施されてから、受験生の悲喜こもごもの思いが詩に詠まれました。若者の身近で切実な思いを映した詩を通して、時代を超えた若者の苦悩を共有し、漢詩を身近なものとして感じてください。
教授	佐藤 真司	情報社会の進展と情報教育	ICT（情報通信技術）の急速な技術革新に伴う情報社会の進展は、私たちの社会や生活に大きな変化をもたらしています。情報社会では、「情報を活用する能力」が求められています。授業では、情報社会の進展と情報技術の関係性を歴史的にとらえるとともに、情報教育の重要性について学びます。
教授	岩本 隆志	SNSデータから学ぶやさしい統計学	私たちが毎日使っているSNSには、たくさんの数字がひそんでいます。どんな投稿が流行っているのか、どんなハッシュタグが注目されているのか、それらを読み解くために使われるのが統計です。この授業では、数学の知識があまりなくても理解できるように、身近なSNSの話題を入り口にして、データを見て、比べて、考える力を楽しく身につけていきます。グラフの読み方や、カンタンなデータ分析の考え方を学びながら、「統計って意外と面白い！」と感じてもらえる時間をめざします。

経営学部 経営学科

教授	松葉 龍一	生成AIをつかってみよう - ググるからジピるへ -	皆さんが何か知りたいことができた時、多くの方はインターネット検索エンジンを利用されていると思いますが、今後は生成AIを利用することも増えていくと思います。AI (Artificial Intelligence : 人工知能) ができることの概説と、生成AIシステムの利用法(プロンプトの出し方)を実習します。
准教授	兒子 正治	人生100年時代、 自律的キャリア形成と 3つの資本	これからの時代は、人生100年時代が現実的になってきます。みなさんが将来、働くにあたり、自律的なキャリア形成が求められる時代がやってきます。キャリア形成の理論を用いながら、これから必要な3つの資本を考えていきます。
准教授	本田 良平	英語の歌の楽しみ方	英語の歌は日本語の歌に較べて韻を踏んでいることが多いです。言葉の役割として、私達は意味の伝達を普通は一番に考えます。しかし韻を重視する歌詞では音としての言葉の役割が大きく、音が先立ち意味が後からついてくることもありえます。こうした英語の歌詞から、普段とは違う言葉へのアプローチが出来たら楽しいでしょう。
講師	岩本 敏裕	日本企業の経営戦略とは	経営戦略の考え方は多様です。3つの基本戦略、5つの競争要因分析、価値連鎖、PPM (プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント)など、さまざまな考え方があります。この講義では、1970-80年代にグローバル企業に成長した日本企業の経営戦略とは、どのようなものであったかを考えます。

経営学部 経営学科

助 教	岳 修毅	なぜ私たちはそれを選ぶのか？ － 消費者行動と 消費者心理で説明 －	私たちは日々、コンビニやネットショッピングなどで商品を選んでいますが、その判断は必ずしも自分の意思だけで決まっているわけではありません。広告や SNS、友人の口コミ、ブランドのイメージ、さらに家族の価値観などが、知らないうちに影響を与えています。本講義では、「なんとなく良い」「みんなが買っているから安心」といった心理や周囲の影響に注目し、消費者がどのように考え行動するのかを学びます。自分の選択を振り返りながら、消費者行動の仕組みを理解します。
-----	------	------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福祉健康学部 福祉学科

職名	教員名	テーマ	講義内容
教授	奥田 亜矢	老化ってどんな現象？ －こころとからだの変化－	人間は加齢と共に心と体の変化を経験します。老化の過程では、視野が狭くなる、聞こえにくくなるなど、さまざまな能力が低下する傾向があります。しかし、老化は個々に異なり、全ての能力が均一に衰えるわけではありません。今回は、一般的な視点から老化を理解し、心と身体の変化について詳しく説明します。
教授	輪倉 一広	ハンセン病をめぐる 社会福祉の歴史	社会福祉の歴史を紐解くと、今日を生きる私たちの人権感覚とはずいぶんかけ離れた実態がみられます。こうした負の救済の歴史を、ハンセン病という人々から忌避された病気の患者たちを例にしてその現実と背景を考えてみます。
教授	崔 銀珠	自分らしく生きる －社会福祉の心－	社会福祉の目指すゴールは、誰もが自分らしく生き、ふだんのくらしのなかでしあわせ（ふ・く・し）を感じることです。そのためには自分を知ることが大事です。自分の強み、才能など自分について一緒に考えましょう！
教授	荒木 実代	認知症カフェを 開いてみませんか？	「認知症カフェ」は高齢者だけでなく、認知症のある方や家族、地域の人、そして高校生も気軽に参加できる多世代交流の場です。おしゃべりやゲーム、体操などを通して自然に人と関わります。本学福祉学科では2016年から地域とつながる活動として開催しています。人と関わるのが好きな人や進路のヒントを探したい高校生のみなさんにとって、新しい世界に触れられる機会になります。地域とつながる交流づくりをはじめてみませんか。

福祉健康学部 福祉学科

<p>教授</p>	<p>中嶋 裕子</p>	<p>アンガーマネジメント (自分の感情との付き合い方)</p>	<p>私たちの心にはさまざまな感情が沸き起こります。中でも怒りとの付き合い方はなかなか難しいものがあります。とても強いエネルギーであるがゆえにそれを持て余したり、良くないかたちで人にぶつけてしまったりします。そんな怒りという感情にどう向き合い、使いこなせばよいのでしょうか。一緒に考えましょう</p>
<p>講師</p>	<p>下田 旭美</p>	<p>世界の課題に向き合うために - SDGs を一緒に 考えてみませんか? -</p>	<p>貧困や感染症、紛争、そして自然災害…。私たちの世界は、さまざまな課題を抱えています。こうした問題は、もはや1つの国だけでは解決できない時代になってきました。そこで国連は、2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標 (SDGs)」を発表しました。SDGsには17のゴールがあり、世界中の人々がより良い未来を築くための指針となっています。 この講座では、SDGsが生まれた背景や、なぜこれほど多くの目標があるのか、そして私たちはなぜSDGsについて学ぶ必要があるのかを分かりやすくお伝えします。そのうえで、この国際的な目標の実現のために、私たち一人ひとりにできることは何か、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。</p>
<p>講師</p>	<p>池本 賢一</p>	<p>ソーシャルワーカーの 専門性と役割</p>	<p>皆さんは「社会福祉士」という資格をご存じでしょうか。また、「ソーシャルワーク」という実践についてご存じですか。「社会福祉」という言葉を聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。 この講座では、「社会福祉」「社会福祉士」「ソーシャルワーク」について、皆さんに知っていただくとともに、よりよい福山市のまちづくりについて一緒に考えていきたいと思えます。</p>

福祉健康学部 福祉学科

<p>助 教</p>	<p>豊田 美絵</p>	<p>いつまでも美味しく楽しく 食べるために —介護が必要な方へ 大切な支援とは—</p>	<p>人は好きなものや美味しいものを食べるとき、幸せな気持ちになります。その楽しみである「食事」を自分で食べることが出来なくなったら…。 支援が必要な状態になったとしても、「美味しく楽しく食べる」ための大切な支援について、体験しながら考える授業を行います。</p>
<p>助 教</p>	<p>大塚 和美</p>	<p>FUKUSHI-ASOBI 講座</p>	<p>府中市介護保険課の依頼を受け、本学科の学生が考案した社会福祉や介護を理解する5つの教材の総称です。地域共生社会につながる福祉マークを知る「神経衰弱ゲーム」や介護や介護職員の仕事を理解する「福祉カルタ」、社会問題や福祉をテーマに議論する「YES NO ゲーム」などがあります。教材作成のねらいや、現代の社会問題についても解説しますので、体験だけにとどまらず、より深く福祉や社会について考えることができます。</p>
		<p>介護テクノロジー講座</p>	<p>近年、ICT（情報通信技術）や介護ロボットを導入・活用することにより、介護サービスの質の向上や利用者のQOLの向上、介護業界の人材不足、介護職員の業務負担の軽減などの効果が報告されています。介護職員の相互に利益がある取り組みと言えます。介護現場で直面する課題とICTや介護ロボットの説明・事例紹介、体験を通して、新しい介護のイメージを持ってもらうことを目指します。</p>

福祉健康学部 福祉学科独自のプログラム

出張講義とは別に「FUKUSHI-ASOBI 講座」を用意しています。

本出前講座は、貴校で実施するだけでなく、大学で開催し大学見学と併せて行うことも可能です。

講座の時間や内容等は、ご要望に応じてアレンジすることが可能です。

テ ー マ	FUKUSHI-ASOBI 講座
担当教員	福祉学科 教員複数名
内 容	府中市の依頼を受け、大学生が考案した社会福祉や介護を理解する体験型の教材を使って、地域共生社会や介護・介護職員の仕事などを理解します。

「FUKUSHI-ASOBI 講座」概要

府中市介護保険課の依頼を受け、本学科の学生が考案した社会福祉や介護を理解する5つの教材の総称です。地域共生社会につながる福祉マークを知る「神経衰弱ゲーム」や介護や介護職員の仕事を理解する「福祉カルタ」、社会問題や福祉をテーマに議論する「YES NO ゲーム」などがあります。教材作成のねらいや、現代の社会問題についても解説しますので、体験だけにとどまらず、より深く福祉や社会について考えることができます。

「FUKUSHI-ASOBI 講座」ながれ (例)

所用時間 110分

・ FUKUSHI-ASOBI 誕生の理由	10:30 ~ 10:40 (10分)
・ FUKUSHI-ASOBI をつかった体験①	10:40 ~ 10:55 (15分)
・ FUKUSHI-ASOBI をつかった体験②	10:55 ~ 11:10 (15分)
・ ふりかえり・まとめ	11:10 ~ 11:20 (10分)

福祉健康学部 こども学科

職名	教員名	テーマ	講義内容
教授	古賀 一博	教育学研究と教員養成	日本の大学には教育学部という名前の学部がたくさんあるが、実は教育学研究を主たる目的としたものと教員養成を主たる目的としたものに区別されます。この違いを整理した上で、これから大学を受験する高校生が進路選択する上で役にたつ各種情報を提供します。
教授	川島 範章	発達・教育のための心理学入門	子どもの発達や教育に携わる人に求められる専門性の一つに心理学があります。本学こども学科の専門科目では、「子ども家庭支援の心理学」「教育心理学」「教育相談」などがそのための科目です。この模擬授業では、子どもの発達課題を取り上げ、これらの科目における心理学の学びがどのように関係するのかお話しします。
教授	小野 順子	乳幼児の発達の特徴と保育	生まれてから小学校入学までの子どもを乳幼児と言いますが、その年齢のこどもたちは発達の速度が早く、保育者はそれに合わせた対応が必要です。この講座では、月齢別の発達の特徴とそれに合わせた関わり方について具体例を用いて説明します。
教授	中原 大介	「人を支える仕事」の魅力と求められる力について	保育者には子どもとのコミュニケーションのみならず、保護者との関わり、コミュニケーションも求められます。対人援助職としての保育士に求められるコミュニケーション力を中心に、人を支える仕事の魅力と必要とされる力についてグループワークを交えながら学習します。

福祉健康学部 こども学科

教授	伊藤 憲孝	おもしろ算数コンサート	音楽から音楽を引くとどうなる?? 音に言葉と映像を掛けるとどうなる?? 音楽の算数問題を解きながら、様々な音楽に耳を傾けます。 ※実施に当たってはピアノ（グランドピアノ可/アップライトピアノ可/電子ピアノ不可）が必要となります。
教授	田中 宏和	インターネットと法	インターネットを利用する際に起こりうる他者への誹謗中傷問題やプライバシー侵害の問題、あるいは著作権、電子商取引に関する問題などについて、実社会で起こり得そうなことを時勢に即しながらピックアップして解説します。
准教授	矢野川 祥典	今こそ学ぼう！ 発達障害について －多様性と共生の視点から－	2022年の文部科学省調査で、通常学級の小中学生8.8%に「発達障害」の可能性があるという結果が公表されました。その中には、からかわれたり劣等感で苦しんでいたりと、生きづらさを抱えている子どもも少なからずいます。「多様性」「共生」について理解が求められる今、正しい知識を学び、やさしい心でつながりませんか。
准教授	黒木 貴人	諸外国との比較から 日本の教育を考えてみよう	自分たちの通ってきた学校では「当たり前」なことが、他の国では「当たり前ではない」ことも少なくありません。いくつかのポイントから日本と諸外国との教育を比較し、教育をより深く考えるための視点を深めます。
講師	佐伯 岳春	子どもの可能性を引き出す レッジョ・エミリア・ アプローチについて	造形的な表現を教育の軸として展開している北イタリアのレッジョ・エミリア市で実践されている教育メソッドを紹介します。また、レッジョ・エミリア・アプローチで実践されている造形的な活動を試し、子どもたちにどのような学びがあるのかについて考えていきます。

福祉健康学部 こども学科

講 師	澤田 英輔	出会い直す「ごんぎつね」	<p>皆さんも、皆さんの保護者の方も、小学生のときに読んだ「ごんぎつね」。このきつねのお話は、「これは、わたしが小さいときに、村の茂平というおじいさんからきいたお話です。」という、本筋とは関係なさそうな一行からはじまります。でも、この一行が、あなたを豊かな物語世界に誘ってくれます。皆さんのよく知る国語の教材をもとに、読むことの楽しさと深さを体験してもらおう講座です。</p>
講 師	迫 有香	初等社会科入門	<p>小学校3年生から6年生までの社会科の授業で、児童が他者との対話を通じ、主体的に「なぜ？ どうしてだろう？」と考えることができるような社会科の授業づくりとはどのようなものか？ について一緒に考えていきます。</p>
講 師	藤江 浩子	「わかる」って どうのこと？	<p>「わかる」という体験は少なからず学習の中で皆さんが体験していると思います。「わかる」とはどのようなことなのでしょう。また、皆さんにとって「わかる授業」とはどのような授業なのでしょう。理科の視点から、「わかる」について考えます。</p>
講 師	梅木 璃子	初等外国語（英語）入門	<p>2020年度から小学校3・4年生では外国語活動、5・6年生では外国語科が始まりました。本講義では、小学校で英語を教えるために必要な知識、特に第二言語としての英語を学習する上で関わる理論や、英語の音について、また小学校英語における異文化理解について紹介します</p>

福祉健康学部 健康スポーツ科学科

職名	教員名	テーマ	講義内容
教授	高本 健彦	健康づくりと 運動・スポーツ	健康づくりには、運動・栄養・休養の3要素が重要です。現代社会における問題点や健康・体づくりと運動の関係について。また、スポーツと体づくりについて、運動処方観点から、運動プログラム作成や運動・トレーニング強度の設定方法などを実際に考えてみます。
教授	中村 雅子	「喫煙の是非について」 ーディベートを用いてー	保健教育で用いられる、アクティブラーニングの効果について説明し、その中の一つであるディベートを用いて「禁煙教育」を行う。
教授	森澤 桂	運動上達の道のり	運動時の動きかたを運動技術と呼びます。いわゆるコツと呼ばれるものです。このコツに関わって、運動が上達するとはどういうことか、どうすれば上手になるのかを考えます。そのコツを身につけていく過程の特徴とは何なのかを考えましょう。
教授	入澤 雅典	日本の学校体育における 水泳指導はどこへ向かっているのか？ ー日本の溺死率は、 同じ島国のイギリスの 10倍って知ってますか？ー	全国の小学校でプールが廃止され、水泳指導は民間のスイミングクラブでの指導へ移行しています。学校体育における水泳指導とはどうあるべきか？を諸外国との比較から考えていきます。
教授	石橋 勇	スポーツ選手の コンディショニング	トップアスリートのコンディショニングについて、具体的な事例を紹介しながら選手サポートの視点から講義を進めます。

福祉健康学部 健康スポーツ科学科

<p>教授</p>	<p>上村 崇</p>	<p>体験!! 哲学カフェ ～哲学対話にふれてみよう～</p>	<p>近年、話題の哲学カフェ。そんな哲学カフェをあなたも体験してみませんか？ 専門知識は必要ありません！ 対話を通して新たな自分と出逢いましょう。哲学カフェを15年以上続けてきた講師があなたを思考の世界に誘います！</p>
<p>教授</p>	<p>河野 洋</p>	<p>「情報的健康 (Information Health)」 って何？</p>	<p>世界保健機関 (WHO) は、健康の定義を「身体的」「精神的」「社会的」のいずれにおいても良好な状態と定義しています。その中で、日本国内を中心に、私たちの生活が「情報的に健康であることを目指す、新しい考えの導入が進められています。本講座では、「情報的健康 (Information Health)」という視点から、ソーシャルメディア時代におけるスポーツの役割を考えます。スポーツは、ニュース、映像、SNS、応援文化などを通じて、多くの情報や感情が行き交う社会的な場となっています。一方で、選手への誹謗中傷や断片的な情報の拡散など、スポーツをめぐる情報環境には課題もあります。こうした事例を手がかりに、スポーツは人々の「情報的健康」にどのように貢献できるのかを考えます。</p>
<p>准教授</p>	<p>若井 研治</p>	<p>プレーモデルと プレー原則の設定</p>	<p>チームが変わると良さが出ない、状況に合わせてプレーを変えることができない選手・チームがいる。年齢、試合方法、レベルに関わらず、自チームの「方向性・具体的な戦い方」を設定し、戦略・戦術などから戦い方の「設定」と「実践」をするための枠組みを考えていく。</p>

福祉健康学部 健康スポーツ科学科

<p>准教授</p>	<p>柴山 慧</p>	<p>スポーツをすることの メリットってなに？ ～スポーツで非認知能力を 鍛えよう！～</p>	<p>スポーツは体力や運技能の向上、健康の維持だけでなく、コミュニケーション能力、リーダーシップ、忍耐力、創造性などの非認知能力の育成にも効果があることが知られています。どんなスポーツを、どれくらいの期間することが効果的なのか、これまでの研究成果を基に考えていきます。</p>
<p>准教授</p>	<p>藤井 宏明</p>	<p>スポーツにおける動作解析 ～スポーツパフォーマンスを 向上させるためには～</p>	<p>スポーツでの動き（走る・投げる・跳ぶなど）を分析し、選手のパフォーマンスを向上させるために使用される動作解析について学びます。</p>
<p>講師</p>	<p>近藤 千穂</p>	<p>子どもの健康とレジリエンス</p>	<p>レジリエンスとは困難をしなやかに乗り越え心の健康を回復する力のことです。人生は山あり谷あり。人間どのような条件が揃えば乗り越える力が強くなるのか、皆さんの経験をもとに共に考え、心の健康のなぞを解きほぐします。</p>
<p>講師</p>	<p>阿部 直紀</p>	<p>スポーツを“教える”とは？ 一人を動かす「言葉の力」を 考える -</p>	<p>コーチや体育教師など、スポーツを“教える”人にはどのような力が必要なのでしょう？ 本講義では、「言葉の力」に着目し、指導者の言葉が選手の意欲や行動にどのような影響を与えられるのかを考えます。人を支え、主体性を引き出すコミュニケーションについて体験的に学びます。</p>

福祉健康学部 健康スポーツ科学科

<p>講 師</p>	<p>浦 佑大</p>	<p>緊張は「敵」じゃない ～呼吸ひとつで 「力」になる～</p>	<p>スポーツ心理学の視点から、「緊張」と「呼吸」の関係を体験的に学ぶ講義です。試合や人前での発表などで緊張すると、なぜ心拍が上がり、呼吸が浅くなり、身体が思うように動かなくなるのでしょうか。本講義では、そうした反応を自律神経系の働きから理解し、呼吸が心身に与える影響について学びます。そのうえで、実際に呼吸法を体験しながら、緊張を「なくすもの」ではなく、「力に変えるもの」として活用するための考え方とスキルを身につけます。</p>
<p>助 教</p>	<p>石井 智紋</p>	<p>ライフステージと 運動・スポーツ</p>	<p>運動・スポーツ活動の現状について知り、各ライフステージに応じた運動・スポーツのかかわり方を考えていきます。</p>

看護学部 看護学科

職名	教員名	テーマ	講義内容
教授	木宮 高代	認知症について 正しく理解しよう ～認知症サポーターに なろう～	認知症について知ることは、まずは「認知症を正しく理解する」ことです。この講義では、認知症の定義・なぜ認知症になってしまうのか、症状、そして認知症の人へのかかわり方について学びます。受講終了後には「認知症サポーター」としての修了証を授与します。
教授	田村 美子	“看護の魅力” 看護師の仕事とは？	看護の仕事は、専門的な知識と技術を使って人々がその人らしく生き生きと暮らせるよう支援します。非常に魅力的でやりがいのある職業です。看護職には看護師、保健師、助産師が含まれ、それぞれが医療面や生活面からの支援を行います。看護の仕事内容について紹介します。
教授	永田 華千代	赤ちゃんの観察	赤ちゃんのかわいいしぐさや行動・睡眠時間・哺乳など新生児の生活リズムについて講義いたします。
教授	井上 徹	眼（め）のはなし	ヒトでは、情報源の80%が「見える」とらしい。病気でなくても、「遠くは見えるが近くは見づらい」、「近くは見えるが遠くは見づらい」、「遠くも近くも見づらい」と人それぞれだし、一人に限っても、生涯の「見え方」は一定しません。このような「見え」の「小理屈」を披露します、一生付き合うご自身の眼のために。
教授	小出水 寿英	「気持ち」ということ、 「心の動き」ということ	みんなで「気持ち」を考えてみよう。「気持ち」がつながるとき、「気持ち」が溢れるとき、「気持ち」を表せないとき、相手の「気持ちを汲む」とき、そんな「心の動き」を探索しましょう。

看護学部 看護学科

教授	北村 亜希子	生（性）の多様性について	同性婚やパートナーシップについて皆様と一緒に考えたいと思います。
教授	神崎 匠世	保健師ってどんなお仕事？	演習風景の写真や健康教育の媒体など保健師の活動内容の紹介や、保健師が業務で使用する演習物品などを用いて体験してもらい、地域の健康を守る保健師の仕事に興味を持っていただきたいと思います。
教授	古川 秀敏	これからの 日本一高齢社会の将来	少子高齢化が進行するわが国の将来について皆さんと考えたいと思います。
教授	内田 史江	身近なケガから学ぶ 「感染を防ぐ力」	日常生活でよく経験するすり傷や切り傷を題材に、感染が起こる仕組みとその予防方法について考えます。また、看護師が実践している創傷管理の基本（洗浄・保護・清潔の保持）について、「なぜそのケアが必要なのか」という視点でみていきます。
教授	荒井 葉子	地域包括ケアとこれから ～地域共生社会の 実現に向けて～	少子高齢社会の現状を踏まえ、地域の実情に応じて、可能な限り住み慣れた地域で高齢者一人ひとりが自立して日常生活を営むことができる社会のあり方について考えます。他人事ではなく自分事として、これからの社会を共に見つめ直していきましょう。
教授	齋藤 公彦	保健師の仕事	保健師の仕事とはどのようなものかを演習風景などの写真とパワーポイント説明させて頂くことで知ってもらい、実際に保健師の業務で使用する演習物品などを用いて体験してもらうことで、保健師の仕事に興味を持ってもらえたらと思います。

看護学部 看護学科

准教授	上村 千鶴	人の命はみな同じ	看護師は、日々命の現場で活動しています。突然の事故や病気で身体に支障をきたし心を痛めます。健康を害しても人はみな同じ人間です。「ほんの少しのやさしさとほんの少しの勇気」出して、困っている人に手助けしてみませんか。
准教授	松本 陽子	マインドフルネスで スマホ脳をリセットしよう	スマホを見すぎて、集中できないと感じたことはありませんか？それは「スマホ脳」かもしれません。 この講座では、マインドフルネスを使って脳の疲れをリセットし、集中力を高める方法を体験します。勉強にもすぐ役立つコツを、楽しく学んでみませんか？
講師	樋口 雪子	自分の生命の誕生について 考えてみよう	自分の命の誕生を振り返り、誕生のルーツを探ることで命の誕生の思いを知り命の大切さを考える機会としましょう。
講師	秋山 由加里	元気の秘訣 ～自分のお世話をしよう～	心も体も元気になれる秘訣は何か。自分で自分のお世話をどうしていくとよいか一緒に考えてみましょう。
講師	福田 久仁子	虐待が起きづらくなるには どのようにすれば良いのか を考えてみよう	通常触れにくい話題ですが、実際にあった虐待事件などを情報提供し、ワールド café 形式でお互いにどう思ったかを語りあう事で色々な気づきとなります。結果的にその思いや気づきが虐待を起きづらくする芽生えになると信じています。

看護学部 看護学科

講師	佐竹 潤子	親になる前に学ぶ 子どものホームケア	少子化、核家族化に伴い、子どもと接したことがない親が増え、軽症の夜間受診が増えています。このことは、小児科医師の負担や緊急の患者の診察が遅れるなどの問題があります。そこで、子どもの特徴や症状に応じたホームケアを学び、どのような対策をとれば、軽症の夜間受診が減るのか一緒に考えたいと思います。
講師	高垣 由美子	予防の大切さを 知っていますか ～身近に起こる熱中症～	暑い夏の季節がやってきます。しかし、気温が高くない時期でも熱中症になるリスクがあります。熱中症になる前に、その対策について一緒に学びましょう。そして、熱中症の人を発見したらどう行動するのか、応急処置について学習しましょう。
講師	大元 雅代	医療の中で行われる 外見へのケア（化粧ケアなど）	近年、医療分野において外見（見た目）へのケアの重要性が高まっています。さらに外見を整える行為が気持ちを前向きにしたり脳を活性化したりと良い影響を与えることがわかってきました。ここでは高齢者への化粧療法やがん患者への外見ケア（アピアランスケア）、メイクセラピーなどについてご紹介します。
講師	平川 幹子	生活習慣病について知ろう！	生活習慣病は、食事、運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が発症の主な原因となっている病気の総称です。日本人の死因の上位を占めるがんや心臓病、脳卒中なども生活習慣病に含まれます。日頃の生活習慣について振り返り、健康的な生活について一緒に考えてみましょう。

看護学部 看護学科

助 教	瀧川 幸子	「折れない心」の育て方	しんどいことがあったとき、「鋼の心臓がほしい」と思ったことはありませんか。本当にほしいのは何か。自分のご機嫌をどうやってとっていくか。一緒に考えてみましょう。
助 教	榎 美穂子	意思決定プロセスについて 『もしものとき』について 考えてみよう	意思決定プロセスやアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の基本知識や、看護師の意思決定支援おける役割やスキルについて学ぶ。自分の意思が伝えられない『もしものとき』を想定して、自身の希望や思いを考え、話し合う。
助 教	笹木 佳子	保健師とは？	保健師は、地域で暮らす人々の健康を支えるために、家庭訪問や、健康教育、相談支援など、さまざまな活動を行っています。大学での演習風景や健康教育の媒体や物品を通して、保健師の活動を体験してもらえたらと思います。
助 教	池田 彩加	フレイル予防について	年をとって心と体の元気がなくなった状態をフレイルといいます。フレイルを予防することで、元気に自立した生活を長く続けることができます。みなさんの身近なお年寄りが元気に年を重ねていくためにはどうしたら良いか考えてみましょう。

看護学部 看護学科 独自のプログラムについて

テーマ	認知症を正しく理解、高齢者を支えていこう「認知症サポーター養成講座」
担当教員	教授 木宮高代
内容	認知症を正しく理解し、「認知症サポーター」になろう

◇「認知症サポーター養成講座」

厚生労働省では、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)を関係11省庁と共同で策定しています。

その取組の一つとして、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を地域で温かく見守り、できる範囲で支援する「認知症サポーター」の養成が全国で進められています。

認知症サポーター養成講座は、小・中・高等学校の児童・生徒をはじめ、地域住民や企業・団体など、さまざまな方が受講できる講座です。

本学では、看護学科教員による「認知症サポーター養成講座」を高等学校等で実施しています。認知症に関する基礎知識や接し方、地域での支え合いについて学び、一人でも多くの高校生の皆さんに「認知症サポーター」として地域でできることを考えていただくとともに、医療・看護・福祉分野への関心や、将来のキャリアを考えるきっかけにつながることを願っています。

認知症サポーターには、①認知症について正しく理解し偏見をもたないこと、②認知症の人やその家族を温かく見守ること、③自分にできる範囲で支援や声かけを実践すること、④地域で支え合いの輪を広げること、⑤認知症にやさしい地域づくりの担い手となること、などが期待されています。

*** 講座時間や内容等については、ご要望に応じて柔軟に対応いたします。**

◇ 認知症サポーター養成講習のスケジュール(例) 講習時間は90分です。

・キャンペーンビデオ	10:30 ~ 10:45 (15分)
・認知症とはなにか	10:45 ~ 11:15 (30分)
・診断・治療、予防について	11:15 ~ 11:35 (20分)
・サポーターとしてなにができるか	11:35 ~ 11:55 (20分)
・××市の相談窓口(地域包括支援センターの紹介)	11:55 ~ 12:00 (5分)
・修了証(全国協議会から認知症サポーターカード・リング)授与	終了

表



裏



オレンジリング
(ハンドリング)



〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸 117-1

TEL:084-972-5001